

2月22日（木） 4階アッセンブリ 9：00～9：40

1 題材名 これってどんな音？

2 題材について

低学年の音楽の授業は、《リクエストによる歌唱》《わらべうたあそび》《リズムあそび》を常時活動として位置づけている。1年生のときから続けている活動は、子どもたちにとってとても大切な時間であり、自分の思いとともに歌うリクエストを多くの子どもがとても楽しみにしている。1年生のときよりも曲のレパートリーが増えることや、歌声ものびのびと自信をもって歌えるようになった姿も見られる。なによりも、子どもがリクエストの時間を楽しみにしていることがなによりも大切である。また、わらべうたでは、友だちとの関わりのなかで葛藤なども生まれ、身体とともに心も成長しつつある。しかし、2年目としての常時活動には、時としてその動きや声にはどこかオーバーアクションのように見られるようになってきたように感じる。2年生の3学期となった今、音というものに対してじっくりと耳を傾ける活動を行うことで、自分たちの出している音や、周りの音に敏感になり、音の持つ響きを感じることができるのではないかと考えた。そのような活動を通して、より自分たちのからだに意識がいき、自分が歌ったり、友だちと思いきり遊んだりすることだけではなく、落ち着いて耳だけに集中することで、より自分の動きや声に注目できるのではないだろうか。

そこで、3学期は音の響きをよく聴くことに焦点を当てた。具体的には楽器から出てくる音の響きや余韻にひたるなどである。ここでは、「まだ音が響いているよ」などという声も聞こえ、音の余韻にどっぷりとひたる姿も見えた。次に、教室の窓を開け、外の音に耳を傾けてみる。そこから、さまざまな身近な音に興味を持ち始めたため、校内へ出かけてさまざまな音を見つけてくる活動を取り入れた。いまままで気づかなかった音や当たり前のように出ている音にも耳を傾け、音楽の授業だけではなく、生活に密接に関わっている音に耳を傾けてほしい。そして、音に着目することで、自分自身の声の響きや身体の動き方などに意識を向けてほしい。

3 学習指導計画（3学期：3時間目／全6時間）

常時活動	
《リクエストによる歌唱》《わらべうたあそび》《リズムあそび》 (1年生から継続的に活動)	
3学期の活動	
音に耳をすませる	→
音からイメージを膨らませて音を楽しむ	→
音を探す、見つける、聴く、立ち止まる	→

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

いろいろな音に興味をもち、音を楽しむ。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○わらべうたあそび 歌いながらからだを動かす	からだをほぐす 歌とからだの動きを合わせる
○リズムあそび	友だちの声もよく聴く
○音の発見、共有、あそぶ なんの音だろう？ 音をよく聴く	テンポ イメージを楽しむ